

建設業の魅力学ぶ

湯沢 高校生が実技体験



手ほどきを受けながらガス圧接の作業を体験する生徒(左)

高校生が建設業の魅力に触れる「建設業体験フェスタ」が、湯沢市の湯沢翔北高校雄勝校で開かれた。同校を含む市内外計5校の24人が、実技体験などを通じて理解を深め、9年に始めた。今年は7月25

雄勝建設業協会(高嶋伸夫会長、22社)の主催。生徒の

建設業への関心を高め、担い

手確保につなげようと201

9年に始めた。今年は7月25

29日に開催し、3日間2種類と5日間の計3コースを設けた。

7月28日は、14人が3班に分かれて型枠工、鉄筋工、防水工に挑戦。協会加盟社のパ

ートナー企業の従業員から手ほどきを受け、ガス圧接な



生徒たちは防水工にも挑戦した

と各工事の実技を体験した。卒業後の進路に建設業界を考えているという佐藤慶太さん(増田高3年)は「安全を確認しながら作業に当たっていることや、細かな作業で仕事がり立っていることが参考になった」と話した。

協会によると、加盟社には今年4月、11人の新規高卒者が入社し、うち6人が過去のフェスタ参加者だった。和賀幸雄副会長は「新型コロナウイルス禍が落ち着いたら高校で出前講座を開き、建設業の魅力を発信していきたい」と話している。(小林智彦)